

## 育 Me 科 学習指導案「不快な気持ちの伝え方」

○ねらい

相手から傷つくことを言われたり、相手の行動を不快に感じたりした際に、自分の不快な気持ちを適切に伝えるためのスキルを身に付ける。

	活動内容	進め方・支援	育 Me 科の視点
導入	<p><b>1 あいさつ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の学習「わたしの対処法」をペアで確認する。</li> </ul> <p><b>2 教師によるモデリング</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提示した場面でどんな気持ちになるか確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈場面：傷つく言葉を受けた、言い方をされた〉 授業中、自分の発言内容に対して、激しい反論を受けた。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに提示した場面で B の対応について考える。(2回繰り返す)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈場面①：傷つく言葉を受けたことに、苛立った返答をする。〉 算数の授業中、自分の発言内容に対して、激しい反論を受けた。 B:「～。」 A:「何言っとるの。違うよ。(相手が不快になる言い方で)」 B:「はっ? そっちこそ何言っとるんよ。」(1回目:怒る) (2回目:ポイントをおさえた良い例)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時は、相手の不快な行動に対するスキルを学習することと、そのポイントを確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【ポイント】 ①自分の気持ちを落ち着かせる ②言葉で表現する ③動きで伝える</p> </div> <p><b>3 本時のめあての掲示</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分の不快な気持ちを相手に伝えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで確認後、全体で確認する。</li> <li>・モデリングの前に、相手の発言や行動で不快な気持ちになる人がいることを理解させる。</li> <li>・最初に受けての気持ちに注目させることで、本時の学習は受け手に視点が充てられていることを理解する。</li> <li>・事前に B の対応に注目することを共有してからモデリングを始める。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「動き」は、表情、しぐさ、声量、声色など</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おかめのあいさつ」を用いる。</li> <li>・1回目のモデリングの後に「ちょっと落ち着いて」の学習内容をとの違いを理解させる。本時の学習は気持ちを落ち着かせた後、または気持ちを落ち着かせるまでいけない場合の行動を学ぶことを確認する。</li> </ul>
展開	<p><b>4 グループ活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロールプレイを始める前に「③動きで伝える」の問題点(やってはいけないこと①手を出す②暴言を言う)を整理する。</li> <li>・電子黒板に提示した場面に合わせてロールプレイをする。</li> <li>・各グループで、1 場面ごとに実演者 2 人と評価者の役割を交代しながら、全児童が全ての役割を行うようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈場面1〉休み時間、係の仕事で白板を消しているときちょっとかき出される。 〈場面2〉廊下を歩いているときにつまづき「ダサッ」と言われる。 〈場面3〉「席、座って。」の声かけに誰も応えてくれない。</p> </div> <p><b>5 全体交流</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動で行った場面を1つ取り上げ、数人の生徒に実演してもらおう。相手役は教員が行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題点(やってはいけないこと)を板書し、児童と共有する。</li> <li>・児童の実演に問題があることが予想されるため、グループ活動の進捗をコントロールし、多くの教員で活動を見届ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非言語での伝え方「③動きで伝える」によっては、良し悪し(問題点)があることを理解させてから活動を始める。</li> </ul>
まとめ	<p><b>6 ふりかえり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の学習内容を振り返り、振り返りシートを記入する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【出口での児童の姿】 「嫌な思いをしたとき、今までは顔に出していたけど、言葉や動きを使って伝えたい。」</p> </div>		